

わくわく国際交流

深川国際交流協会 広報誌 Vol.28 2016.3

身近な国際交流を広めよう 深川国際交流協会 会長 小瀧 聡

「日本で働きたい」と考える若者が増えていると言われています。もともと日本は外国人の就労に対しては、長年かたくなにドアを閉じようとしていました。ところが、18歳人口が減少したこと、このままでは、近い将来深刻な労働力不足となることが予測されることなどがあり、次第に、外国人の就労条件を緩和するようになりました。その結果、国内のあちこちで定住する外国人の姿が見られるようになってきました。深川市もその例外ではありません。外国人と共生することに慣れていない私たちが、日本の風俗習慣を体験したことのない人たちをどのように受け入れ共に生きて行くか、彼らを日本社会の中にソフトランディングさせることが出来るか、おおきな課題です。深川国際交流協会では、市内の福祉・医療関係で研修をしているフィリピン人の若者の日本語修得の支援を行ってきました。そして、機会あるごとに、我々の活動に参加してもらっております。こうした機会を通して、研修生が日本社会に溶け込み、また、深川の人達が彼らの文化への理解を深めることを願っております。

今年度のカナダ青少年交流訪問団は、珍しく、男子5人がメンバーとなりました。高校1年でリーダー役の宮田君は2回目の参加でした。そして、引率を担当してくれた定岡トミさんは、以前、カナダアボツフォードに住んでいたことのある方でした。そのようないくつかの偶然も重なり、とてもまとまりの良い活発なグループとなりました。10月に開催された報告会で、訪問団の活動を分かりやすい映像に編集して紹介してくれました。さすが、現代の若者たちです。

我々の協会のホームページでも、楽しい映像を取り込んで、活動状況を地域に向けて発信したいと考えております。



バンクーバーで前ALT北沢さん
と再会した訪問団員

?? 深川国際交流協会ってなあに ??

深川国際交流協会では、深川に住む人がさまざまな外国への関心と理解を深めるきっかけづくりをしています。

おもな活動は、「青少年カナダ交流訪問団」の派遣や、子どもたちを対象にした「インターナショナルデー」（毎年6月頃開催）、国際理解を深めるための「国際文化交流パーティー」（毎年秋に開催）などの交流事業をしています。

各事業の参加者募集は、深川市のホームページや「広報ふかがわ」にも随時、掲載しています。

会員は随時募集しています。

【事務局】 深川市役所 企画総務部 企画財政課 企画係
Tel 0164-26-2246
Email f-kokusai@fukakoku.sakura.ne.jp
ホームページ <http://www.fukakoku.sakura.ne.jp/>



深川国際交流協会

深川国際交流協会総会

2015. 4. 20(月)

プラザホテル板倉にて「深川国際交流協会総会」を開催しました。総会では、2014 年度事業報告及び決算報告、2014 年度監査報告がなされ、2015 年度事業計画（案）及び予算(案)が承認されました。



2015 International Day (インターナショナルデー)

2015. 6. 10(水)

プログラム

- 17:00 ALT (英語指導助手) 紹介
- 17:10 ALTによるゲーム
 - Musical Chairs (イス取りゲーム)
 - The Longest Newspaper (一番長く新聞を裂いたのはだれ?)
- 17:50 深川国際交流協会 “Team Canada” によるゲーム
 - Pictionary (お絵かきですよ)
- 18:05 Break Time (軽食と歓談)
- 18:35 拓殖大学北海道短期大学 “Team Takushoku International Students” によるゲーム
 - Raw Egg Race (卵運びレース)
- 18:45 ゲーム結果発表、表彰、賞品授与

今年で 19 回目となるインターナショナルデーは、深川とその近郊から AET7 名を招待し、約 70 名（内 27 名は小中高生）、6 カ国から成る大きな国際イベントとなりました。参加者全員が国籍、年齢などバラバラに構成された 6 チームに分かれて様々なゲームを行い、コミュニケーション力を養う絶好の機会を持つことが出来ました。

まず、ALT の皆さんによる英語での自己紹介の後、前 ALT のケビンさんを中心に「Musical Chairs」が開始され、軽快なリズムに乗せて会場の雰囲気盛り上げました。次に、「The Longest Newspaper」では、英字の新聞紙を自由に手でビリビリと裂き、その長さを競い合いました。優勝チームのその繋ぎ合わせた長さは、40m を越えるまでになりました。



「The Longest Newspaper」

チームの団結力が高まってきた所で、深川国際交流協会 “Team Canada” による「Pictionary」を開始。チーム代表者が“お題”を引いて一切無言で絵を描き、他の人がその絵の“お題”を当てるゲーム。多くのチームが開始 10 秒以内で正解を連発。AET が描く絵にも正解し、絵に言葉の壁は無い所を見せつけてくれました。

Break Time 中には、各チーム内で AET を囲んで英語によるメンバーの自己紹介が始まり、友好が深められ、ここでも大変有意義な時間を過ごせた様です。

最後のゲームは、チーム拓殖 International Students によるハラハラドキドキの “Raw Egg Race”。スプーンで生卵を運んで最後の人まで受け渡していくリレーゲーム。ゴール直前では、写真判定が必要なほど際どい接戦が繰り広げられ、急ぎよ、予定では 1 回のみだったレースを 2 回行うハプニングも…。

前 ALT のケビンさんをはじめ、楽しいゲームを企画思案してくれた皆さんのおかげで、今回も International Day は盛況に終了することが出来ました。

(国際理解部会 杉山 一郎)

プログラム (中央公民館)

- 10:00 ALT 紹介
 - 10:10 アイスブレイク
 - 10:30 LET' S COOKING!!
 - 12:00 昼食
 - 13:00 ALT のゲーム ENGLISH OLYMPICS
 - 13:55 表彰式
 - 14:00 ゲーム WHO AM I ? (私は誰?)
- 青少年カナダ交流訪問団事前研修に参加

今回が第2回目となる市内の小学5・6年生を対象とした、料理やゲームなどを通して英語や外国の文化に触れてもらう事業『英語で遊ぼう』を6月27日に中央公民館で開催しました。今年は市内市外のALT5名や、フィリピン介護福祉士研修生のみなさん、2015年度青少年カナダ交流訪問団などを含め30人近くの参加があり、国際色豊かな風景でした。



「LET' S COOKING!!」

まずはアイスブレイクで『じゃんけんトレイン』。「ロック、ペーパー、シザーズ!」の掛け声が響き渡り長いトレインになり緊張がほぐれたあとは、調理室で料理タイム。前ALTケビンさんの地元で有名な『ナナイモバー』というバターや砂糖、チョコレートをつんだんに使ったお菓子、そしてもう1品は『オープンサンドウィッチ』を作りました。

子どもたちはケビンさんの説明を聞きながらALTたちと協力して料理を楽しみました。はじめて食べるナナイモバーに「甘〜い!」とあちこちから驚きの声が上がったりと、それぞれおしゃべりしながら和やかなランチタイムとなりました。

お腹が満たされたあとは、ほうきとビーチボールを使った『バルーンホッケー』で盛り上がりました。みんな夢中になってボールを追いかけ白熱したゲームとなりました。最後には英会話でゲームをしたりして楽しい時間はあっという間に過ぎました。

今回はたくさんの様々な国から来た皆さんに参加していただき、子どもたちにとって興味深い時間となったのではないかと思います。来年度もまた楽しい経験となるような国際交流の場を設けられるように計画していきたいと思います。

(派遣・受入交流部会 部会長 横田 育子)



第17回 青少年カナダ交流訪問団派遣

2015. 7. 27~8. 11

7月27日から8月11日の行程で青少年海外派遣事業(青少年カナダ交流訪問団派遣)を実施しました。青少年カナダ交流訪問団のカナダ訪問の感想など詳細については、「青少年カナダ交流訪問団報告書」に掲載しています。深川市や当協会のホームページでもご覧いただけます。 [深川市 青少年カナダ](#) で検索してみてください。



- メンバー紹介 写真右から
- 宮田 匡さん(旭川東高等学校1年) リーダー
 - 伊藤 希実香さん(一巳中学校2年)
 - 山下深川市長
 - 太田 凌雅さん(一巳中学校3年)
 - 矢戸 暉大さん(深川中学校1年)
 - 菊入 龍奏さん(一巳中学校3年) サブリーダー
 - 定岡 統美さん(団長・引率)

日程 主な研修内容

- | | |
|------|---------------------------------|
| 7.27 | バンクーバー国際空港へ |
| 7.28 | 歓迎昼食会、英語の授業 |
| 7.29 | 英語の授業、市役所訪問 |
| 7.30 | 英語の授業、ホワイトロック散策 |
| 7.31 | ヴィクトリア視察 |
| 8.4 | 英語の授業、プール&ランチ |
| 8.5 | グランビルアイランド、ロブソンストリート、スタンレーパーク散策 |
| 8.6 | 英語の授業、カルタスレイク |
| 8.7 | 英語の授業、ボウリング、送別会 |
| 8.10 | 帰国 (8.11 深川到着) |

青少年カナダ交流訪問団報告会

2015. 10. 24(土)

7月27日から8月11日の2週間、青少年カナダ交流訪問団に参加した中学生4名、高校生1名の報告会を行いました。

「国際文化交流パーティー」と共に10月24日プラザホテル板倉で行われ、市議会議員や団員の保護者、学校関係者など約110名が出席しました。



報告会では、会場の大型スクリーンにアボツフォード市滞在中の写真を映しながら、団員が写真にまつわるエピソードや研修全体を通じた感想を発表しました。また、引率者（定岡統美さん）から、カナダ・アボツフォード市訪問中の活動や、団員一人一人についての研修を通しての嬉しい変化などスライドを交えて話していただきました。最後に、事前研修で作成し、深川市やアボツフォード市でたくさんの方に呼びかけ、メッセージでいっぱいになった「団旗」を披露し、サブリーダーを務めた菊入さんからお礼の言葉を伝えていました。

当日は、参加者に青少年カナダ交流訪問団の報告書が配られ、研修日程に沿った団員の日記や、団長からの報告など盛りだくさんの内容となっています。

国際文化交流パーティー

2015. 10. 24(土)

今年もプログラムも前半に青少年カナダ交流訪問団報告会、後半に国際文化交流パーティーを開催しました。

ビュッフェスタイルのランチを取りながら、市内外で活躍されている方々にご協力をいただき、とても楽しくそして華やかなパーティーとなりました。

ステージ上では、小瀧愉梅（こたきゆうめい）様によるドイツ生まれの“ヘルマンハーブ”、牡丹花（ムウタンホワ）の皆様による中国弦楽器“二胡”の演奏、フラ・マカニ・オハナの皆様によるハワイのフラの踊り、介護福祉士の資格取得を目指してフィリピンからの研修生4人のバンブーダンスを披露していただきました。

それぞれのステージは見ごたえがあり、フラの2部ではフラ・マカニ・オハナの菅原先生にフラのハンドサインを教えていただき、会場の皆さんと一緒に踊るシーンでは難しいながらもオリジナルも交えながら踊っていたりと、会場に笑顔があふれる楽しいひとときを過ごせました。

恒例の国際ジャンケン大会は今年もALTや留学生それぞれの国の言葉でジャンケンをして盛り上がりました。

今後も様々な催しなどを通して、市民の皆さんに国際交流協会や来道している海外の皆さん、そして深川の姉妹都市であるカナダ・アボツフォード市を身近に感じていただくと嬉しいです。



(国際理解部会 増永 朱美)

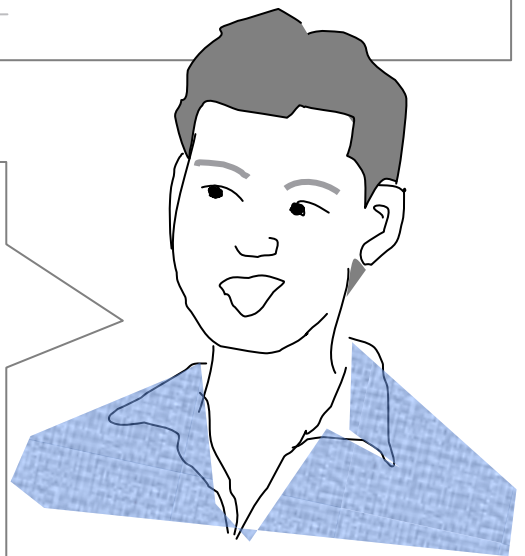
英語指導助手 ケビン・ユーロさんからメッセージ

2015年8月に来市し、英語指導助手として教えているケビンさん。バンクーバーに住んでいた時に日本料理が好きになり、メニューを読めるように日本語を勉強したそうです。そんなケビンさんからみなさんにメッセージをいただきました。Let's try!

One of my goals is to promote international exchange. While staying in Japan, I want to share stories about my hometown, Vancouver, Canada. I also want to learn about Japanese culture so I study Japanese everyday. Japan is a very beautiful country and I think many people want to come and visit it. Some people might not want to because they are afraid that no one speaks English. If more Japanese people spoke English, they would be able to invite foreigners to anywhere in Japan. The countryside of Japan is just as wonderful as the city.

Please try your best to talk to foreigners; not just help them. In my six months, I have found out that Japanese people are very shy. My parents are from the Philippines but I was born in Canada. I am Asian but I am Canadian. I do not look like a foreigner but I am. When Japanese people find out that I do not speak Japanese well, they always stop talking and use gestures. I think they should speak slowly with easy words. Again, please try to talk to foreigners; not just help them.

私の名前はケビンです。6ヶ月間深川市に住んでいます。本当に素敵な町だと思います。私は一已小学校、一已中学校と納内小学校のALTとして生徒に英語を教えています。楽しい授業を作りたい。それから、生徒達は今すぐにでも英語を使いたいと思っていますようです。英語は難しいですけどとても良いスキルだと思います。英語で、外国人と話すことや洋楽を聞くことやハリウッド映画を見たいと思っていますようです。失敗いを心配しないでください。



ケビンさんは協会の行事にも参加してくれる予定ですので、一緒に交流しましょう！

介護福祉士研修生の日本語教室

2015年度に介護福祉士の資格取得を目指し、フィリピンから来日した3人の研修生 ジャッキーさん、デニスさん、キースさん。3人より1年早く深川での生活をスタートさせたレイシェルさんと4人で週1回90分の日本語教室を受講しています。講師は、昨年12月から小瀧会長、上垣副会長、定岡会員が交替で担当しています。

今年1月に介護福祉士の国家試験がありました。2012年度に来日したグレイスさん、マークさん、ジョバンニさんの3人そろっての資格取得となる日が待たれるところです。

深川第一病院・エーデルワイスで介護職員として働きながら、目標をもって勉強に取り組む傍ら、研修生のみなさんは協会の行事に参加してスピーチやバンブーダンスを披露してくれました。行事に参加した市民のみなさんとの交流も生まれています。

3月1日に公開スピーチがエーデルワイスで開かれ、施設職員や協会会員などが見守る中、自分の夢や、深川で暮らした感想などについて5分程度日本語で話しました。来市3カ月とは思えない日本語のスピーチに感心すると同時に、「好きな食べ物は？」「ストレスの解消法は？」など出席者からの質問に笑顔で応じる人柄にとっても親しみを感じました。研修生のみなさんは、故郷の家族に仕送りをしたり、定期的に連絡を取り合うなど、とても親兄弟を大切にしていることを知りました。



3/1 エーデルワイスで行われた公開スピーチの様子です。



右からジャッキーさん、デニスさん、キースさん。昨年12月に来市した3人が日本語でスピーチしました。

フィリピンのことを教えてくれて
マラーミンサラマートゥ（どうもありがとう）！

賛助会員のご紹介

医療法人アンリー・デュナン会	協立測量設計株式会社
(株)倉本道新販売店	(株)しまの
神竜土地改良区	多度志土地改良区
寺岡工務株式会社	中澤歯科整形外科医院
廣野スポーツ(ヒロノ(株))	深川市役所
深川青年会議所	深川土地改良区

当協会を支援していただいている賛助会員の皆様の中から、掲載のご了承をいただいた 企業様及び団体様を五十音順にご紹介しています☆